

まちづくり交付金 事後評価シート
兼続地区

平成25年3月

新潟県南魚沼市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県		市町村名	南魚沼市		地区名	兼続地区			面積	600ha	
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成24年度		交付対象事業費	257.6	国費率	0.426			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		道路(旭町上町線、伊勢町裏線)・地域生活基盤施設(広場、観光交流駐車場、情報板)・高次都市施設(観光交流センター)							
			提案事業		地域創造支援事業(地盤沈下地域対策事業)・まちづくり活動推進事業(広報事業、まちづくり活動事業、コミュニティバス運行事業)							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			提案事業		①地域生活基盤施設(地域防災施設 流雪溝)②高質空間形成施設(散策道)③既存建造物活用事業(情報の駅)		①計画地区の水源確保調査が進まず、計画期間内の事業実施が不可能であるため削除。②他事業で実施することとしたため削除③別事業により展示スペース等の施設整備が完了したことからこの施設にて活用を図ることが効果的であるため削除。			事業を削除したが、基本的に別事業で実施されているため指標等に影響なし		
	新たに追加した事業		基幹事業		道路(大神宮北線)		市道拡幅工事と同時施工で実施される河川改修工事の箇所変更に伴い、計画外であった河川沿線の市道大神宮北線を追加し同時施工で行うこととし追加した。			まちづくり目標21に関連するが、指標等に影響なし。本線を追加することにより河川沿線の一体的整備と適正な交差点が確保され緊急車両の通り抜けも可能となることから、雪に強い安全・安心のまちづくりが図れる。		
			提案事業		地域創造支援事業(①モニュメント設置事業)・事業活用調査(②市道整備事業化検討事業)		①戦国EXPOとの相乗効果を狙い、まちなかの周遊ルートを生み出し、②狭隘道路の改良と雨水幹線路の改修により安心安全な道路交通確保を行うための調査設計			それぞれまちづくり目標1及び21に関連するが、指標等影響はなし。		
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
		変更	なし									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ
	指標1	定住人口	人	7,171	H18	7,100 H24	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標2	主要観光施設への来客者数	人	88,334	H18	100,000 H24		76,406	△	あり	目標には至っていないが、人口の減少傾向は市全体及び他地区に比べ抑えられている。H24年度では他地区が軒並み減少している中、当該地区は微増が見込まれる。また賃貸住宅着工の伸び等により世帯数の増加にもつながり効果が表れてきている。	H25年5月頃
	指標3	六日町駅の乗降客数	人/日	5,637	H17	5,637 H24		5,313	△	あり	一度は目標を達成出来たが、その後の震災に伴う風評被害と、景気後退により達成には至っていない。しかしモニュメント、交流センター、足湯、情報板等関連事業も含んだ整備により周遊ルートの魅力も向上し、一定の歯止め効果は発現しており、改善の兆しも見えてきている。	H25年6月頃
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		定住人口減少率	%	△4.12	H18		△1.27		あり	南魚沼市の人口はH18年度比で△4.12%の減少に対して「兼続地区」では△1.27%と人口の減少を抑えられているため、改善傾向にある	
	その他の数値指標2		イベント数	件	13	H18		20		あり	大河ドラマ「天地人」の放映を契機に、歴史資源や自然景観を活用した観光ポイントの整備、魅力の向上と合わせ、中心市街地の活性化、交流人口の拡大を目指した地域団体の機運の高まりにより自発的なイベント開催が増加している。	
4) 定性的な効果発現状況	<p>地域を活性化しようという住民の自主的な活動が始まり、今までになかった住民主体によるイベント等が実施され、交流人口の拡大、地域活性化につながっている。例えば、新規としては「コンテンツ・ツーリズム推進協議会」(きりざいDE愛隊)「温泉旅館の女将さんによる朝ごはんプロジェクト」「女子力観光プロモーションチーム」「六日町まち歩きマップの会」「兼続通り商店街組合」による活動、既存団体でも新たに百八灯点火、観桜会、100円商店街、無料周遊バスといった活動が実施され盛り上がりを見せている。戦国EXPOや武将婚に関して、全国表彰でも準グランプリを受賞している。さらにはこれらの組織が連携していくことが今後の鍵として「いっほの管」がH24.12に発足され、ますます気運が高まり広がりがつある。</p> <p>・地区内には関連事業とし、地元商店街により新規に足湯も設置され、地域はもとより地域外の方との交流の場が誕生しており、毎月1,000人前後の利用者がいる。</p> <p>・モニュメント、銅像、パンフレットに関しては話題性もありマスコミにとりあげられるなど、県内はもとより全国への広がりとなり、南魚沼市の情報発信の一旦を担っている。</p>											
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
持続的なまちづくり体制の構築		コンテンツ・ツーリズム推進協議会の設立。地域の若者が連携して、大河ドラマ「天地人」放映年の「愛・天地人博」を契機に、放映後の地域の持続的活性化に向けた諸事業を企画運営。2010年「戦国EXPO」、2011年「きりざいDE愛隊」(ご当地グルメ、県内初の愛Bリーグ加盟)及びコンテンツ・ツーリズム学会(全国初組織化)へと発展し、今後も継続して展開している。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● コンテンツ・ツーリズム推進協議会による活動は、今後も継続して展開されていく予定であり、市の特性を活かした誘客促進・持続的な観光振興を図るため、連携して活動を推進していきたい。		

様式2-2 地区の概要

兼続地区(新潟県南魚沼市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標: 地域の歴史資源や自然景観を活用した文化交流型のまちづくりを目指す。また、市民と行政の協働による、雪に強く安全・安心で快適な雪国都市を目指す。 目標1: 平成21年の歴史大河ドラマ原作に決定した「天地人」の主人公「直江兼続公」の生誕地として、放映決定を絶好の機会とらえて観光PR、施設整備、交通ネットワーク整備による中心市街地の魅力の増進を図る。また、まちのシンボルである坂戸山・魚野川を中心としたまちなか散策等の推進や、歴史資料館設立により交流人口の増加を図る。 目標2: 本地区は以前より道路除雪はもとより住宅の雪下しなど、雪処理に悩まされてきた。雪に強いインフラ整備を行い、安全・安心な市街地を形成することで、定住促進を図る。	定住人口	単位: 人	7,171	H18	7,100	H24	7,080	H24
	主要観光施設への来客者数	単位: 人	88,334	H18	100,000	H24	76,406	H24
	六日町駅の乗降客数	単位: 人/日	5,637	H17	5,637	H24	5,313	H24

基幹事業 (Yellow)

提案事業 (Light Blue)

情報板 (Information Boards)

まちづくり活動費 (Community Activity Fees)

コミュニティバス運行 (Community Bus Operation)

モニュメント設置事業 5体 (Monument Installation Project 5 pieces)

市道整備 (Municipal Road Improvement): 旭町上町線, 大神宮北線, 伊勢町裏線

広場整備 (Square Improvement): 防災広場

駐車場整備 (Parking Lot Improvement): 観光交流駐車場

観光交流センター(伝世館) (Tourism Exchange Center (Densetsukan))

モニュメント設置事業 銅像 (Monument Installation Project Bronze Statue)

地盤沈下対策事業 (Ground Subsidence Countermeasure Project): 観測井戸計器

市道整備事業化検討事業 (Municipal Road Improvement Project Commercialization Study Project): 旭町上町線

広報事業 (Publicity Project)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 既存の団体の継続的な活動及び充実のほか、まちづくりを考える新たな活動組織、団体の発足やこの団体等による新規イベント開催が発生し、交流人口の拡大、地域活性化が進んでいる。 大河ドラマの関連施設や、市の周辺観光ポイントが一緒になった看板が整備されたことで、様々なお客様の観光ニーズに対応できる態勢が整いつつある。 河川改修に併せ道路を拡幅改良し、消雪施設を整備したことにより、緊急車両が進入できない狭隘道路が解消され、沿道住民の安心安全な生活環境が向上した。 観測井戸などが整備され、地盤沈下の観測点が増えることにより、より正確に地盤沈下の状況を把握することが可能となった。 市街地周辺の避難場所確保のための地域防災拠点施設として、市役所隣接地に貯水槽や備品を備えた防災倉庫が設置できたことにより、安心安全な生活環境が向上した。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「天地人」の放映をきっかけに整備した施設、観光資源等によって、住民主体によるまちづくりの活動の気運が高まり、新旧の団体を問わず今までになかった新しいイベントが実施されてきている。今後もさらに交流人口の増加、地域活性化といった目標を掲げ、地域団体の活動の継続と発展を支援し、連携を図りながら内外に向けたPRや情報発信を推進していく。 当事業によって整備された施設等を、当初の目的に沿って快適に利用できる環境を維持するため適切な維持管理を行う。また、地区の魅力を向上させ、リピーターの増加に繋げるため、観光資源の質を向上させる整備、修復、展示品の刷新について取り組んでいく。 雪に強いまちづくりは、地域住民の長年の願いであり、インフラ整備は、定住促進のポイントとなります。地盤沈下の抑制を検討するためのデータ収集に必要な観測事業を実施し、地下水利用の節水と共存方法の検証を行ない、地下水に頼らない融雪システムの検討整備や、県が実施する河川改修事業との調整により狭隘道路の解消を進め、引続き安心安全なまちづくりに取組んでいく。